

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎあうまち

施策番号・名 18 地域産業の振興

基本事業番号・名 18-04 農業とのふれあいづくり

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)	改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)										
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)												
18-04-01	産業振興課	対象	市民	平成21年度	761 (件)	平成21年度	657 (区画)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	980	平成21年度	5,046	平成21年度	6,026	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)				
	農業とふれあう場確保事業	手段	市民に農業体験をしてもらうための施設開放	募集応募数	区画数	農園利用者が都市農業を理解している割合	平成20年度	761 (件)	平成20年度	655 (区画)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	3,663	平成20年度	4,944	平成20年度	8,607	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男		
							平成19年度	825 (件)	平成19年度	607 (区画)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	1,742	平成19年度	4,930	平成19年度	6,672	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	縮小	
							土との触れ合いを通し、都市農業の理解者を作る。													土との触れ合いを通し、都市農業の理解を深めるためにもこの事業は必要と考える。現状においては、事業経費等の削減を行い事業効果を上げていく。			
		意図	農業体験を通じ、都市農業の理解者になってもらう。																				